

科目名称：	子どもの健康と安全	
担当者名：	奥村 澄	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
保育における保健的観点を踏まえた子どもの健康と保育環境について理解する。 また、子どもの発達や健康状態に即した適切な対応について具体的に学び、 健康及び安全で衛生的な環境や援助について理解を深める。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 子どもの発育発達段階、健康状態を考えながら援助の方法を理解し行動ができる。 2. 子どもの発育発達段階、健康状態を考えながら安全に行動ができる。 3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に理解し、安全に行動ができる。 4. 保育における感染症対策について具体的方法を理解し、安全かつ衛生的に行動ができる。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)	90	0	10	0	100
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 看護師	《経験年数1》 5年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス 子どもの健康と安全 【演習】手洗い	子どもの発達の目安を復習しておく。	45分
第2回 保健的保育環境と援助 【演習】バイタルサイン測定・身体測定	課題プリントに測定の意義・測定方法の手順等を調べておく。	60分
第3回 保健的保育環境と援助 身体発育評価の実際 児童虐待	課題プリントに発育評価方法を調べておく。児童虐待について調べておく。	60分
第4回 保育における保健的対応 【演習】睡眠 寝かせ方 抱っことおんぶ	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第5回 保育における保健的対応 【演習】衣服の着脱方法	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第6回 保育における保健的対応 【演習】排泄 おむつ交換	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第7回 保育における保健的対応 【演習】食事 調乳方法 はみがき	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第8回 保育における保健的対応 【演習】沐浴	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第9回 保育における健康・安全管理 【演習】誤飲予防	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第10回 子どもの体調不良時の対応 【演習】心肺蘇生法 止血・包帯法	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第11回 子どもの体調不良時の対応 【演習】薬の投与方法	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第12回 子どもがよくかかる感染症対策 【演習】感染性物質の処理方法	課題プリントに手順等を調べておく。	60分
第13回 個別的な配慮を要する子どもへの対応 【グループワーク】	グループワーク課題について調べておく。	60分
第14回 障害を持つ子どもへの対応 【グループワーク】	グループワーク課題について調べておく。	60分
第15回 健康・安全管理の実施体制	課題プリント内容を調べておく。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題プリントをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、90%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
定期試験90%、提出課題10%、受講態度（授業への参加度、グループワークの取り組み）も考慮する。

課題に対するフィードバック

1. 授業内プリントは評価し返却する。
2. 定期試験は、希望者には事務局を通して返却する。

教科書・参考書

授業で現場で役に立つ！子どもの健康と安全演習ノート 小林美由紀著 診断と治療社
参考資料：「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」（平成23年3月 厚生労働省）
「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」（平成30年3月 厚生労働省）
「教育・保健施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」（平成28年3月 内閣府・文部科学省・厚生労働省）